

競 技 注 意 事 項 (案)

1. 規則について

- ・本競技会は 2016 年度日本陸上競技連盟規則、並びに本大会競技注意事項により実施する。

2. 練習場所について

- ・練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分に配慮すること。なお、競技場内での練習は 14 時 20 分から 15 時 45 分までとする。

3. 招集方法

- ・1 次招集は各競技開始時刻の 30 分前から 20 分前までの間に競技者係（室内練習場内）にて行う。
その際、2016 年度学連登録ナンバーカードをユニフォームにつけて、競技者本人が持参すること。
- ・コールの時は、競技者本人が自分の腰ゼッケンを受け取り、自分のレーン番号に○をつけること。
- ・1 次招集の際に別ナンバーカードを配布する。
- ・2 次招集は各競技開始時刻の 10 分前に各種目スタート地点にて行う。

4. 棄権について

- ・事前に棄権する場合は関西学連の HP に掲載されている事前棄権届に必要な事項を記入の上、
10月4日(火) 17時までに関西学連宛 (inficaak@gmail.com) にメールにて提出すること。
- ・試合当日に棄権することになった選手は、総務と競技者係へ当日棄権届を提出すること。

5. 競技者の服装について

- ・ナンバーカードは 1 次招集で配付した別ナンバーカードと腰ゼッケンを使用し、必ず胸部・背部、両腰それぞれ 4 箇所安全ピン等でしっかりつけること。
(別ナンバーカードと腰ゼッケンは競技終了後、必ず返却すること。)

6. 競技について

- ・計時は写真判定装置を使用して電気計時 (1/100 秒) とする。但し、装置の故障等でトラブルが生じた場合は手動計時 (1/10 秒) とする。
- ・フィニッシュ地点手前 50m にコーンを設置することがある。その際、フィニッシュする選手は、コーンの外側 (第 3 レーンより外) を走ることに。
- ・各レース給水を行う。

7. 競技場使用の注意

- ・バックスタンド及びサイドスタンドは利用禁止とする。また、バックスタンド裏の練習場での練習も禁止とする。
- ・競技場の施設及び用器具は大切に使用すること。競技場の用器具を破損した場合は、当該者の所属大学より必要代金を徴収する可能性がある。

- ・競技中の応援、ラップタイムの計測に関しては、メインスタンドもしくはトラックの第9レーンよりも外側で行うこと。但し、トラック内における大会本部前及び各種目のスタート、ゴール地点付近は、大会運営のため応援禁止とする。当該区域はコーンにて表示するので立ち入らないこと。また競技中は、選手も含め、大会本部前を通らないようにすること。なお、競技役員から移動等の指示があった場合は速やかに従うこと。
- ・横断幕・のぼり等を使用しての応援は禁止する。
- ・競技場のトラック・フィールド内には、審判員・補助員・選手以外の立ち入りを禁止する。
- ・競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。
またその際、大会本部前の通行は禁止とする。
- ・競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- ・グラウンド以外はスパイクで立ち入らないこと。
- ・芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
- ・室内練習場は招集場所として使用するため、シート等を使っての場所取りはしないこと。また飲食禁止とする。

8. 不正スタートについて

- (1) 不正スタートと判定された競技者は失格となる。
- (2) スタートの号砲は英語で行う。
- (3) 不正スタートの判定は目視にて行う。

9. その他

- ・選手の開門時間は14時20分とする。また、競技終了後は速やかに競技場から退出すること。
- ・大学受付は14時20分より正面玄関入口にて行う。その際、プログラムを配布する。
- ・競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込めない。(規則第144条)
- ・学連より学生審判員及び学生補助員の派遣要請をされた大学は、必ず定められた人数を派遣しなければならない。その際、学生審判員は公認審判バッジ及び胸章が付いた正装もしくはブレザーを着用すること(ヒールや革靴等の底の固い靴は不可)。また、学生補助員はクラブ指定のジャージを着用すること。
- ・競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。但し、2016年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。
- ・注意事項及び競技者としてのマナーを逸脱した行為等が見受けられた場合、その選手の所属大学を厳重に処罰する。
- ・荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- ・全競技終了後、各大学は使用した場所の清掃を行うこと。ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。(ゴミ袋が必要な場合は正面玄関付近の役員係にて配布する。)
- ・車での来場はできるだけ控え、公共の交通機関を利用し来場すること。
- ・正面玄関付近に集合する場合、邪魔にならないよう注意すること。
- ・大会期間中疑問点があれば、大会本部まで申し出ること。